

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くるべ



らしさは、
素晴らしさ。

特集「55年の歩み -好きなことがライフワークとなるとき-

2023
12
December

表彰のお知らせ

活動レポート

年越しまつり

【編集・発行】 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 令和5年12月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

2023
12

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

★新規参加者随時受付中

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1 睡眠と健康の 知恵袋講座	2
3	4	5 自力整体	6 自力整体	7 アロマ・ヨガ	8 体操	9
10	11	12 脳トレ	13 アロマ・ヨガ	14 自力整体	15 自力整体	16 年越しまつり
17	18	19	20 音楽療法	21 音楽療法	22 音楽療法	23
24	25	26 音楽療法	27	28	29	30
31	1/1	2	3	4	5 アロマ・ヨガ	6

- アロマ・ヨガ**
村田 あゆみ 先生
 - 自力整体**
稲田 清美 先生
 - 脳トレ**
くろべ脳トレクラブ
 - 体操**
藤田 英子 先生
 - 音楽療法**
畠山 悦子 先生
 - 睡眠と健康の知恵袋講座**
明治安田生命
- は休館日
時間/10:00~11:00
対象/65歳以上の方
参加費/300円(入館料のみ)

★令和4年4月より、生き生き倶楽部の予定は広報くるべにて掲載しております。

消防の



みなさんご存じですか？

消防車両等の名称表示

知識

車体の前面、側面及び後面に所属、車種等が略語で書いてあります。



例えば...

黒T1 = 黒部消防署のタンク車1号車

宇P1 = 宇奈月消防署のポンプ車1号車

入A2 = 入善消防署の救急車2号車

朝R1 = 朝日消防署の救助工作車1号車

新指1 = 新川地域消防組合の指揮車1号車

このように、すぐわかるように略語で車両表示し大規模災害時に安全かつ戦術的な活動ができるようにしてあります。



今月の表紙

子どもの頃から好きだった編み物。大人になった今でも続けていて、目の前には50個以上の作品が並んでいます。冬に向けて靴下を編みながら「少しでも時間があれば、編みたくする」と笑って話してくれました。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市ふれあい福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています



ちよこつと情報 [黒部市の人口] 39,783人 [65歳以上の人口] 12,864人 高齢化率 32.3% R5.10.31現在

55年の歴史を持つ黒部のアマチュア劇団「劇団フロンティア」。村椿地区にある劇場「シアターフロンティア」を拠点に30代から80代の団員が公演に向けて週2回練習しています。今回は、劇団フロンティア代表の森隆俊（もり たかし）さんと団員の尾崎俊太郎（おざき しゅんたろう）さんから演劇に対する思いをお聞きしました。

演劇との出会い

森さんが演劇を始めたのは高校生のとき。在学中に演劇部が創設されて入部し、芝居のおもしろさを体感しました。卒業してからは各地区の青年団が集まる青年祭で芝居を披露。その姿が劇団フロンティアの団員の目に留まり加入することに。芝居に対する熱量が増えたのはプロによる演出を経験したときです。「台本はあるけど想像もつかないことをいろいろと要求されるがです。自由に表現することの楽しさを味わい、芝居作りの奥深さを初めて知りま

作り上げるおもしろさ

団員のみなさんは年齢を重ねることに仕事や家庭や町内での役割が大きくなる中で、それぞれの予定を調整しながら本番に向けて練習しています。尾崎さんは、「みんな家庭環境も職場環境も年齢も違うし、演劇の難しい所はみんなでタイミングを合わせて作業することです。だけど、お互いをリスペクトしてフォロワーしながら本番に向かって一緒に進んで行くので、世代の違う人が同じ空間にいることは価値のあることだと思います」と話します。

今年11月の公演「宇奈月温泉わくわく物語」山田胖（ゆたか）とその周辺」では、尾崎さんが演出を担当。昨年12月頃から約5か月かけて史実を反映した台本を作成。その間には「一丁目ぞめき」と「父と暮せば」の公演があり、休みなく活動していました。「台本作りは感情をこめてセリフを入れていかないといけないし、音響や照明、セットをどうするのかってことも頭の中で構築しながら作っていかんんですがです。尾崎さんが演出した作品からは彼の優しさや個性が伝わってくるので、大変な才能だと思えますよ」と森さんは話します。

尾崎さんが、今回の作品を演出するにあたって苦労したことは方言でのセリフです。「富山弁のセリフだとおもしろいなと思ったし、役者も普段通りのしゃべり方だからやりやすいだろうなと思ったんですけど、演じるとききって標準



代表の森さん(左)と団員の尾崎さん(右)



11月の公演に向けて、シアターフロンティアで練習

した。それに演出って、個性を持った役者を自分の描いた額縁の中に入れていくような作業なので、演出で作品のおもしろさが決まるがやっ

て勉強になりましたね」と森さん。

尾崎さんが演劇を始めたのは大学生のとき。「自分みたいな者でも演劇部に入っていけるかなと思いつながりながら勇気を出して演劇サークルに入りました。おもしろみがあったし、仲間たちとワイワイやるのが楽しかったですね。黒部に劇団フロンティアがあることは知っていたので、就職して仕事に慣れた頃にのぞいてみようかなと思っていたんですが、その矢先に声がかかりました。在籍してこれで25年経ちますね」と話します。

黒部を想う募金が集まりました!

赤い羽根共同募金 街頭募金活動

4年ぶりに黒部市内6か所で街頭募金活動を行いました。

募金をしてくださったみなさん、また活動場所を提供していただいた店舗のみなさんのおかげで多くの募金が集まりました。ありがとうございました。

10月1日~12月31日の間、「じぶんのまちを良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動を行っております。黒部で集まった募金の70%は、黒部のまちを良くするために使われます。

募金額
62,006円
ありがとうございました



黒部市更生保護女性会による募金活動

- 協力店舗
- ・大阪屋ショップ宇奈月店
 - ・大阪屋ショップ黒部店
 - ・ジャンプ黒部店
 - ・黒部ショッピングセンターメルシー
 - ・原信黒部店
 - ・マックスパリュ黒部コラーレ前店

おしらせ | 受賞おめでとうございます!
黒部市の個人・団体の皆さまが表彰されました

多年にわたり社会福祉の発展に貢献された功績を称えて、市民の方々が表彰されました。

富山県民ボランティア・NPO大会	富山県ボランティア部門功労(ボランティア分野)表彰 ・黒部市保育研究会
	富山県社会福祉協議会会長表彰 【民生委員児童委員功労者の部】 ・中田 美智子 ・中田 浩子 ・中村 勝吉 【社会福祉事業関係功労者の部】 ・佐々木 光忠(音沢地区社会福祉協議会) ・森山 悦子(軽費老人ホーム新川ハイツ) 【ボランティア活動参加者(団体)の部】 ・荻生地区ボランティア部会 ・前沢地区ボランティア部会
第70回 富山県社会福祉大会	富山県共同募金会会長表彰 【共同募金活動優良地区・団体】 ・公益財団法人 黒部市国際文化センターコラーレ
	富山県共同募金会会長感謝状の贈呈 【篤志寄付者の部】 ・株式会社中西電気 ・滝林 勉 ・田中 幸雄 【災害義援金協力者の部】 ・黒部市自治振興会連絡協議会

※敬称略・順不同



温泉旅館のシーンでは小道具を使って練習



迫力のある演技を見せる森さん

ライフワークで
自分らしさを表現

語を使うので実際は難しかったみたいです。最初は自分が思い描いていたものと演技が一致しないんですが、練習を重ねることに演出と演技が合致して完成が近づいてくるんです。自分の考えが役者にきちんと伝わるように、役者一人ひとりに合わせた伝え方を工夫しました」と尾崎さん。同じ言葉でも言い方一つで伝わり方が変わるところが演劇のおもしろさであり、そのおもしろさが森さんと尾崎さんが芝居を続けてきたモチベーションとなっています。

森さんは演劇を通してライフワークについてこう考えます。「ライフワークって本人の生き方、時間の使い方、価値観によると思うんですが、仕事以上に自分らしさを伝えられる時間だと思うんです。それに、今まで自分が得てきたものをどうやって社会に還元していかうかと考えることが大事だと思うんですね。それが自分の深いところまで届いていくのかな。自分の本来の深みになってくるっていうかな。自分の本来の深みになってくるって何なんかなって考えたり、豊かな晩年を迎えるってどういうことかなって考えたり。若いときはいろいろな苦労があつて当たり前。でも、日々の暮らしの中で仕事以外のことをやってみたいと思っている人は

いると思うんです。だから、自分がやってみたいと思うことをライフワークとしてチャレンジしてもらいたいですね」と話します。
11月の公演で108作品となった劇団フロンティア。ステージ数になると500回を超えました。尾崎さんは、「これからも地元を愛される劇団でありたいです。地元にいる人たちが参加して作品を作って、それを地元の人たちが見て楽しんでいく。そうやって地道な力をどんどん蓄えていけたらいいですね」と話します。
森さんは、「うちの強みはリピーターのお客さんが多いこと。毎年楽しみにしていると聞かれると本当に嬉しいがですよ。年齢問わず自由に参加できて表現できる場所として、演劇が人々に認めてもらえるのもっと演技のバリエーションが広がるんじゃないかな」と話します。

劇団フロンティア

詳細はこちら



黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/8:30~16:00 入浴/10:30~15:30

12月

2日(土) 10:30~ 華の会(歌謡ショー)

9日(土) 10:30~ 立山相甚会(相撲甚句)

10日(日) 10:30~ グリーンロード富山(カラオケ、踊り)

23日(土) 10:00~ こぶしカラオケ愛好会

休館日 | 毎週月曜日(4日・11日・18日・25日)

年末年始のため

12月30日~1月3日まで休館日です。

1月

7日(日) 10:30~ グリーンロード富山(カラオケ、踊り)

13日(土) 10:30~ 魚津カラオケ友好会

21日(日) 10:30~ 歌謡パラダイス、歌謡くらぶ

27日(土) 10:30~ YKK社友会歌謡同好会

休館日 | 毎週月曜日(8日・15日・22日・29日)

催し物と休館日のご案内

今月のクラブ

ポールウォーキング

■8日(金) 13:30~15:00
場所:石田交流プラザ(現地集合)

■22日(金) 13:30~15:00
場所:大布施公民館(現地集合)

囲碁・将棋クラブ

金曜日(1日・8日・15日・22日・29日) 9:00~16:00
場所:黒部市福祉センター 研修室

元気カラオケクラブ

14日(木)・28日(木) 9:00~15:30
場所:黒部市福祉センター 研修室

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に寄付をいただきました
ありがとうございました

しんぎん生地はまなす会 様

大川輝邦 様

にいかわ信用金庫 様



発電機をご寄付いただきました。

今月の相談日

弁護士と法律相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)

12月19日(火) 13:30~15:30

予約受付12月1日より※先着4名

相談内容問わず、年度につき

1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談

■大布施公民館(金屋64)※開催場所が通常と異なります

12月11日(月) 10:00~11:30

予約受付12月1日より

年越しまつり

令和5年 12月16日(土)

[時間] 9:30~15:00

[場所] 黒部市福祉センター

入館料 60歳以上 300円 / 障がい者 300円 /
小学生 100円 / 幼児 無料 / 一般 400円

入館された方に
豚汁&抽選券プレゼント!!

14:10~ 豪華景品が当たる**大抽選会**

売上げのすべては
赤い羽根共同募金に寄付します。

縁日コーナー

スカットボール

輪なげ

射的

健康チェックコーナー

10:00~13:00

・血管年齢測定
・骨密度チェック
自分の健康度をチェック
してみよう!
(協力: 明治安田生命黒部営業所)

飲食コーナー

・炊き込みおにぎり
・たい焼き
・からあげ
・飲み物 など

アトラクション

11:10~ 健康体操
(藤田 英子氏)
11:45~ 森の朗読サロン
演目「杜子春」
(語り手/森 隆俊氏)
13:00~ 寸劇
(シニア爆笑劇団)

年越しまつり 無料バス運行表

- 各停車場にバス出発時刻5分前までにお集まりください。
- 交通事情により予定時刻よりずれる場合があります。



帰りのバスは迎いのバスの逆回りコースになります。

- 東布施・田家・石田方面 → 14:45発
- 若栗・荻生・三日市方面 → 14:45発
- 生地・村椿方面 → 15:45発
- 前沢方面 → 15:45発

[お問い合わせ] 黒部市社会福祉協議会 〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082 FAX.(0765)52-2797